

神田委員（自民議連）

令和6年3月7日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）安心できる学校づくりについて

小学校1年生の児童が学校に行きたいと思ってもらえるような学校づくりに向けて、どのような対策を講じていくのか、教育長の所見を伺う。

（答）

県内の公立小学校におきましては、入学した全ての子供たちが、安心感を持って新しい学校生活に移行できるよう、弾力的な時間割の設定を行ったり、学習内容に幼児期の「遊び」を取り入れたりする「スタートカリキュラム」を実施しております。

このカリキュラムを実施することにより、子供たちが、自らの興味関心に応じて主体的に学びに向かう姿が見られるようになるとともに、教員も時間にとらわれることなく、心に余裕を持って一人一人の子供を丁寧に把握できるものと考えております。

また、このカリキュラムは、作成・実施されるにとどまらず、各学校におきまして、子供一人一人の実態や地域の実情に応じて、継続的に改善されることが重要であると考えております。

このため、県教育委員会におきましては、各学校での「スタートカリキュラム」の改善が進むよう、市町における幼保小連携協議会や合同研修会などにおきまして指導助言を行うとともに、教員の関わり方や、地域人材を活用した取組などの好事例の発信を行っているところでございます。

県教育委員会といたしましては、今後もこうした取組を通じて、各学校が「スタートカリキュラム」の充実を図り、小学校1年生の児童が安心感を持って「明日も学校に行きたい」と思えるような学校づくりができるよう、しっかりと支援してまいります。